

安全・安心なまちを目指して



市民会館文化ホールでの集会の様子

4月17日、市民会館で暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会を開催しました。この集会は、市民一人ひとりが暴力追放の意思といのちの尊さを共有し、安全で安心なまちづくりの実現を目指すものです。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小。地域・防犯団体や関係団体など約110人が集い、参加者は、まち全体で暴力をなくしていこうと決意を新たにしました。

■問い合わせ 自治振興課(☎829-1211)

県下消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞



藏園さんは県代表として九州地区発表会に出場

4月6日、県下消防職員意見発表会が平戸市であり、出場者15人が熱弁を振るう中で、市消防局の藏園彩乃さんが最優秀賞に選ばれました。

藏園さんは、休日の登山中の大けがで救助を受けた経験をもとに、消防隊と要救助者の位置情報などが共有できるアプリの開発を提案。また「要救助者の孤独に寄り添い希望を与えられる、『心』を持った消防士になりたい」と、思いを述べました。

■問い合わせ 消防局総務課(☎822-0441)

市民を災害から守るために



昨年9月に長崎市に接近した台風第10号の教訓を踏まえ、さまざまな場面を想定した訓練を実施

5月12日、災害時に市民が安全・安心な避難ができるよう、市職員による避難所運営訓練を旧川平小学校で行いました。訓練では、指定避難所の迅速な開設や運営、避難時の新型コロナウイルス感染症対策などを、長崎大学などのアドバイザーの助言を交えながら実施。三密を回避するための避難スペースの迅速な区分けや、体調不良者が発生した際の処置などを、避難所運営職員や保健師などが連携しながら確認しました。

これから長雨の季節となりますが、皆さんの安全安心を守ることができるよう避難所運営に努めます。

■問い合わせ 防災危機管理室(☎822-0480)